

印刷現場から生まれた  
インライン型の 熱風式ペーパーヒーター

自動で用紙温度をコントロールし

冬場の印刷における、  
インキの着肉不良を解消する



オフセット枚葉印刷用  
ペーパーヒーター

紙面昇温装置

SION®



T&K TOKK®

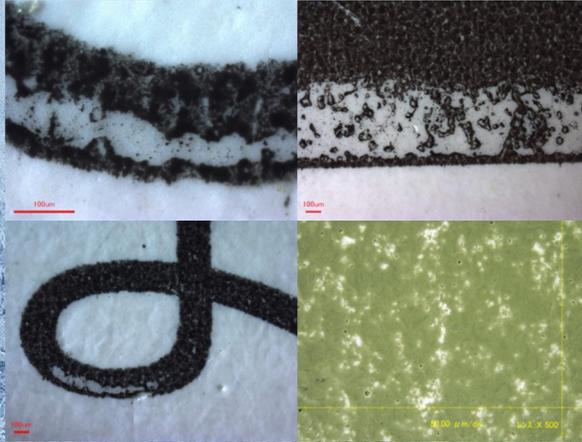
## 着肉不良の時、この様な作業から解放されます

- 印圧を高める
- インキの変更や助剤の添加
- ブランケットを交換する
- 毛布や暖房で用紙を温める

## 印刷現場から実感できた効果

- インキ消費量の軽減
- 静電気の除去
- 見当精度の安定化
- 熱風方式による紙粉除去
- ブランケットの洗浄回数が低減

### SIONが全て解決



KOMORI GLX44



KOMORI L50



HEIDELBERG XL106



紙面昇温装置  
**SION**



KBA RAPIDA106



リコーMHI RMGT9



MAN ROLAND HiPrint700

自動昇降が便利

ご採用企業さまの反響

- 毎シーズン困っていた特定の印刷では、エッジピックが解消されてSIONが必須に。
- 今までよりも3000回転以上スピードを上げて印刷できるようになった。
- 冬場はベタの潰れが悪く、印刷機で用紙の空通しをしていましたが必要なくなりました。
- 特殊原反を使用すると冬場は見当精度が著しく低下していたのですが、改善することができました。
- 紙粉除去の効果もあり、ブランケットへのダメージが軽減。寿命も延びたので冬季以外でも使用しています。
- 用紙温度に起因するインキ転移の変動を抑え、ドットゲインの安定化に貢献する装置。
- 画線残りによる不意な文字欠けや絵柄欠けを防止できるので、年間を通して使用している。
- 工場内のエイジングスペースが改善。休日にも暖房をONにしていたが、その必要も無くなり光熱費にも優しい。

◎ 減税・補助金 制度が利用できます！

お申込み・お問合せ先